

MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料）の輸送の 安全確保に関する協定運営要綱

（要 旨）

第1条 この要綱は、MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料）の輸送の安全確保に関する協定書（以下「協定」という。）第13条の規定に基づき協定の運用等に関し必要な事項を定めるものとする。

（発電所の構内）

第2条 協定第1条第2号、第5号及び第6号、第2条並びに第7条第1項に規定する「発電所の構内」とは、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（昭和53年通商産業省令第77号）第1条第2項に基づく浜岡原子力発電所の「管理区域」及び「周辺監視区域」をいう。

（輸送計画の協議）

第3条 協定第6条第2項に規定する輸送計画又は同条第3項に規定する輸送計画の内容の変更の協議は、様式第1号によるMOX燃料輸送（変更）計画書（以下「輸送計画書」という。）により行うものとする。

（軽微な変更）

第4条 協定第6条第3項ただし書に規定する「軽微な変更」とは、輸送計画書に記載した輸送予定年月日の時間及び輸送車両のナンバーをいう。

2 協定第6条第3項ただし書に規定する「やむを得ない事由」とは、天災地変又は輸送計画書に記載した輸送に使用する施設の周辺の事故等により、緊急避難の措置を講ずる必要が生じ、輸送を中止する等の場合をいう。

（放射線の管理）

第5条 協定第7条第1項の規定により行う線量当量率及び放射性物質の密度の測定は、MOX燃料を収納した輸送容器を積載した車両が岸壁を出発する前及び原子炉建屋入口付近又はキャスク置場に到着した後にそれぞれ実施するものとする。

2 測定結果の報告は、様式第2号による放射線管理等報告書により行うものとする。

(異常値)

第6条 協定第7条第2項の「異常値」とは、次の表に掲げる値を超えた場合又は超えるおそれのある場合をいう。

| 測定項目 | 測定対象 | 異常値 |
|-----------------|--------------------|----------------------------|
| 線量当量率 | 輸送容器表面 | 2ミリシーベルト(2,000マイクロシーベルト)毎時 |
| | 輸送容器表面から1メートル離れた位置 | 100マイクロシーベルト毎時 |
| 輸送容器表面の放射性物質の密度 | アルファ線を放出しない放射性物質 | 4ベクレル毎平方センチメートル |
| | アルファ線を放出する放射性物質 | 0.4ベクレル毎平方センチメートル |

(輸送終了の連絡)

第7条 協定第8条の規定による輸送終了の連絡は、様式第3号によるMOX燃料輸送終了連絡書により行うものとする。

(事故の報告)

第8条 協定第9条第1項の規定による事故の報告は、口頭又は電話による連絡後、様式第4号によるMOX燃料輸送事故報告書により行うものとする。

(通報連絡の責任者)

第9条 静岡県、御前崎市及び中部電力株式会社は、連絡を円滑に処理できるようあらかじめ連絡責任者及び連絡担当者を定め、相互に連絡するものとする。

附 則

この要綱は、平成21年1月13日から施行する。

<様式第1号>

年 月 日

MOX燃料輸送（変更）計画書

様

住所

氏名

印

MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料）の輸送の安全確保に関する協定書第6条第2項（第3項）の規定により、MOX燃料の輸送について次により協議します。

| | | | | |
|------------|----------------------|----------|----------------------|---------------|
| 輸送予定年月日 | 年 月 日 時 分 入港 | | | |
| | 年 月 日 時 分 岸壁出発 | | 年 月 日 時 分 浜岡原子力発電所到着 | |
| | 年 月 日 時 分 浜岡原子力発電所出発 | | 年 月 日 時 分 岸壁到着 | |
| | 年 月 日 時 分 出港 | | | |
| 輸送数量等 | 輸送総量 | 輸送容器数 | 輸送容器1基当たりの量 | 燃料体1体当たりの量 |
| | 体 Bq | 基 | 体 Bq | Bq |
| MOX燃料の概要 | 原子炉名 | 平均ウラン濃縮度 | 平均核分裂性 プルトニウム富化度 | ウラン・プルトニウム総重量 |
| | | wt% | wt% | kg |
| 線量当量率等の計画値 | 容器表面の線量当量率 | | $\mu\text{Sv/h}$ 以下 | 容器表面の放射性物質の密度 |
| | 容器表面から1m離れた位置の線量当量率 | | $\mu\text{Sv/h}$ 以下 | |
| 輸送本部 | 本部長 | | 副本部長 | |
| 輸送事業者名 | 海上 | | 陸上 | |
| 輸送船舶の概要 | 船舶名 | 総トン数 | トン | 所有者 |
| 輸送車両の概要 | 車種 | | ナンバー | 最大積載量 |
| | | | | トン |
| 車両輸送の方法 | 輸送隊列 | | 輸送回数 | 運行速度 |
| 輸送に使用する施設 | | | | |
| 備考 | | | | |

<様式第2号>

放射線管理等報告書

年 月 日

様

住 所

氏 名

印

MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料）の輸送の安全確保に関する協定書第7条第1項の規定により、放射線管理等について次のとおり報告します。

1. 輸 送 年 月 日 年 月 日

2. 輸 送 容 器 数 基

3. 放射線管理等記録 別紙「測定記録表」のとおりに

測定記録表

1. 容器の形式及び番号 _____ 承認容器番号 _____
2. 線量当量率及び放射性物質の密度

(1) 岸壁

| 項目 測定点 | 線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) | | | | 放射性物質の密度 (Bq/cm^2) | | 備考 |
|-----------|----------------------------|---|----------|---|-------------------------------|----------|----|
| | 表面 | | l m | | α 以外 | α | |
| | γ | n | γ | n | | | |
| ① | | | | | | | |
| ② | | | | | | | |
| ③ | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | |
| ⑥ | | | | | | | |
| ⑦ | | | | | | | |
| ⑧ | | | | | | | |
| 最高個所 | | | | | | | |

線量当量率 測定日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分
 放射性物質の密度 採取日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分
 測定日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分

(2) 原子炉建屋入口又はキャスク置場

| 項目 測定点 | 線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) | | | | 放射性物質の密度 (Bq/cm^2) | | 備考 |
|-----------|----------------------------|---|----------|---|-------------------------------|----------|----|
| | 表面 | | l m | | α 以外 | α | |
| | γ | n | γ | n | | | |
| ① | | | | | | | |
| ② | | | | | | | |
| ③ | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | |
| ⑥ | | | | | | | |
| ⑦ | | | | | | | |
| ⑧ | | | | | | | |
| 最高個所 | | | | | | | |

線量当量率 測定日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分
 放射性物質の密度 採取日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分
 測定日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分

3. 容器表面温度

(1) 岸壁

| 項目 測定点 | 温度 ($^{\circ}\text{C}$) | 備考 |
|-----------|---------------------------|---|
| ① | () | 外気温度 $^{\circ}\text{C}$ () は外気温度を 38°C に換算した温度。 |
| ② | () | |
| ③ | () | |
| ④ | () | |
| ⑤ | () | |
| ⑥ | () | |
| ⑦ | () | |
| ⑧ | () | |

測定日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分

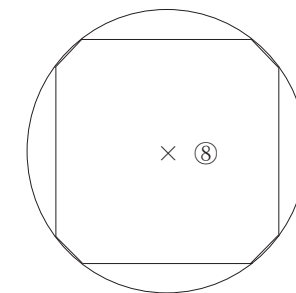
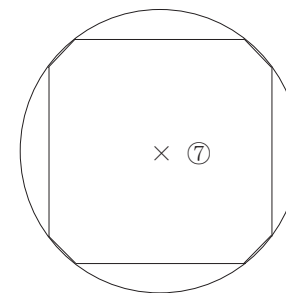
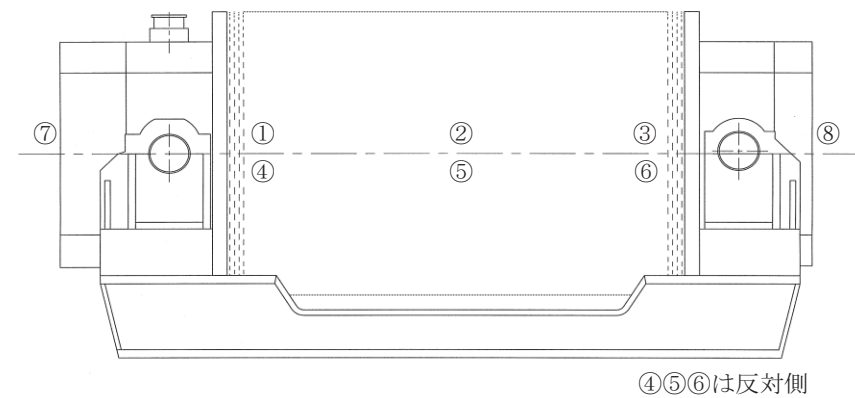
(2) 原子炉建屋入口又はキャスク置場

| 項目 測定点 | 温度 ($^{\circ}\text{C}$) | 備考 |
|-----------|---------------------------|---|
| ① | () | 外気温度 $^{\circ}\text{C}$ () は外気温度を 38°C に換算した温度。 |
| ② | () | |
| ③ | () | |
| ④ | () | |
| ⑤ | () | |
| ⑥ | () | |
| ⑦ | () | |
| ⑧ | () | |

測定日時 _____ 年 月 日 時 分 ~ 時 分

測定点説明図

TN-12B(M) II 型



4. 容器漏洩率

容器搬出施設内

| | |
|--------------------------------|--|
| 漏洩率 (cm^3/s) | |
|--------------------------------|--|

測定日 _____ 年 月 日

<様式第3号>

MOX燃料輸送終了連絡書

年 月 日

様

住 所

氏 名

印

年 月 日付で協議したMOX燃料の輸送は下記のとおり終了したので、MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料）の輸送の安全確保に関する協定書第8条の規定に基づき連絡します。

| | | |
|-----------|-------------------------------|-----------|
| 輸 送 年 月 日 | 年 月 日 時 分 入 港 | |
| | 年 月 日 時 分 岸 壁 出 発 | |
| | 年 月 日 時 分 浜 岡 原 子 力 発 電 所 到 着 | |
| | 年 月 日 時 分 浜 岡 原 子 力 発 電 所 出 発 | |
| | 年 月 日 時 分 岸 壁 到 着 | |
| | 年 月 日 時 分 出 港 | |
| 輸 送 数 量 等 | 輸 送 容 器 基 | 燃 料 体 数 体 |
| | 放射能強度 Bq | |
| | ウラン・プルトニウム総重量 kg | |
| 備 考 | | |

<様式第4号>

MOX燃料輸送事故報告書

年 月 日

様

住 所

氏 名

印

MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料）の輸送の安全確保に関する協定書第9条第1項の規定により、事故の発生について次のとおり報告します。

| | |
|-----------|--|
| 発生年月日・時間 | |
| 発 生 場 所 | |
| 事 故 の 種 類 | |
| 概 況 | |
| 措 置 の 内 容 | |